



平成31年3月1日現在	
総世帯数	1,948世帯
総人口	3,882人
男	1,884人
女	1,998人



1月26日(土)、卒業を控えた小学6年生と中学3年生の計11人が参加した田川地区立志式「たがわっこ宣言」と、今年4月から小学校に通うお子さんと保護者の皆さん計23人が参加した来入児のお祝い事業「さあ、僕らの仲間になろう!」が、田川公民館で開催されました。

「たがわっこ宣言」では、小6児童から「勉強と部活を頑張りたい」、中3生徒からは「高校生活で自分の夢がかなうよう努力したい」など、力強く抱負が語られました。

「さあ、僕らの仲間になろう!」



**わがまち**  
—中条西の夏まつり—

中条西町会には、大宮社という鎮守の社があり、大きなケヤキの木があります。それほど広い境内ではありませんが、そこで毎年恒例の夏まつりを行っています。内容は、子どもたちの花火大会やマレットゴルフ大会

「う!」では、多くの関係者が見守るなか、新1年生が元気いっぱいにあいさつをしました。

その後、遊びの時間やお茶会があり、地域の方々との交流を深めました。

これからも田川地区全体で、子どもたちの成長を後押ししたいものです。

(館報編集委員 野本)

マレットゴルフは、6ホールのコースを自分たちで設計して作ります。保育園のプールがコースの真ん中にあり、砂場やジャングルジム、鉄棒、ブランコ、ケヤキの木など、ホールごとに障害物を入れて、距離が短い分、難しくしています。

ボールを打つだけでなく、コースを作るところからみんな考えて、十分に楽しみました。

4月に保育園が移転となり、子どもたちの声も聞こえなくなつて寂しくなりましたが、マレットゴルフのコースを常設しておき、町の人たちがいつでも利用できればよいと思います。

(中条西町会長 田伏一夫)



健康づくり推進員

「全市研修会」で活動報告

毎年、松本市内の健康づくり推進員が一堂に会して行われる「全市研修会」が2月6日(水)、音楽文化ホールで開催され、田川地区の推進員の皆さんが活動報告を行いました。



田川地区12町会から選出された14名の健康づくり推進員が、模索しながら活動してきた2年間。なんと今年、全市研修会の舞台上で発表を行うことに！  
今年度から担当になった奥原保健師の素案を元にみんなで話し合い、写真・データ等による田川地区の紹介と活動報告、そしてあの名作DVDとともに、「田川体操」を披露しようという練習を重ねました。  
発表当日、昨年作ったオレ

ンジのエプロンを着て、緊張する私たちを待っていたのは、会場の温かい拍手と笑顔でした。  
その後行われた講演「2年の経験を今後の糧にするために」を聞きながら、大変なだけ楽しかったね、と振り

返る私たちがいました。  
今更ですが、公民館やひろばの皆さん、何より地域の皆さんに支えられ、助けていただいたからできたことだと気付きました。ありがとうございます。  
これからが始まりのような気がします。  
(健康づくり推進員会 副会長 松原圭子)



たがわばんどAUBE 結成1周年記念コンサート

春を感じさせる陽気の2月24日(日)、「たがわばんどAUBE(オーブ)」の結成1周年記念コンサートが田川公民館で開催され、100人を越える来場がありました。

「たがわばんどAUBE」は、平成29年暮れに田川公民館で行われた「ワイン講座」をきっかけに誕生した、20〜70歳代で構成される住

民バンドで、過去3回の演奏実績があります。

当日は、息の合った楽器演奏や美声を披露するほか、「宇宙戦艦ヤマト」の沖田艦長や、「男はつらいよ」の謎の寅さん達が登場するなど楽しい演出もあり、終始笑いの絶えないコンサートとなりました。

クライマックスに、渚の西城秀樹が現れると、盛り上がりも最高潮に達し、会場を埋めた住民らを魅了しました。  
また、小中学生メンバーを中心とした「AUBEジュニ



ア」のお披露目もあり、今後数十年にわたり同バンドの活躍が期待されます。  
(館報編集委員 野本)

「読み聞かせ講座」に参加して

田川おはなしの会では、読み聞かせの技術向上をめざし、毎年、田川公民館で開催される美咲蘭先生の「読み聞かせ講座」に参加しています。  
といつても、堅苦しいものではなく、先生考案の「あいうえお体操」で身体をほぐしたり、日本の名文をみんな德音読したりと、和気あいあいとした雰囲気です。  
先生は、子どもたちが物語

に親しむためには、伝え手の「表情」がとても大切といわれます。まず私たち大人が楽しんでなければ、絵本の世界や思いが伝わらないからです。  
読み聞かせは豊かな言葉を育ててくれますが、昨今は共働きのご家庭も多く、なかなか手がまわらないなか、ボランティアが保育園や小学校に出向き、読み聞かせを行うことで、地域社会が共に子どもを育てていくのではないかと、ともいわれました。

少しでも絵本に親しみを感じてもらえるように、これからも笑顔で読み聞かせをつけていけたらと思います。  
(田川おはなしの会 染谷恵理子)

